



浦高祭盛大に開催される

前回の広報の綴し込みでも提燈行列の結果発表を兼ね、お礼を申し上げましたが、7月14日から16日に亘り、第46回浦高祭が行われました。天候が心配されましたが、幸いなことに、雨に当たることがなく、全日程を無事に終えることができました。

■提燈行列では、You遊ナイトの賑わいの中、1年生「七福神」、2年生「ねぶた」、3年生「ゲゲゲの鬼太郎」が沿道を行進しました。■夕闇が迫った役場前では各クラスからの提燈アピールが元気良く行われ、それぞれの作品の説明が、会場を盛り上げていました。また沿道からの声援に、ごどもたちは「気力がわいた」となどと勇気付けられました。本当に

浦幌高校日記

地元浦高の様子をお届けします



美しく浮かびあがる提燈行列

たくさん温かいお言葉をありがとうございました。■日曜日の一般公開、特設野外ステージでは、各クラスの出し物、カラオケやクイズ・アタック25など様々な催し物がとり行

われました。中でも好評だった新企画「男装女装コンテスト」では、多くの町民の皆様にご協力をいただきました。また、恒例となったもちまきやビンゴ、これまた新企画の小さな子ども向け「マル秘企画」おもちゃ・おかしまきも喜んでいただけました。■当日は200人を超える町民の皆様を来訪いただき、茶道部の茶席も、用意してありましたお菓子も全てなくなってしまう盛りぶりでした。また各部の展示やクラスの模擬店、浦幌企画、PTAの屋台でおなかを満たしながらお祭を楽しんでいただきました。

改めて感謝申し上げます

今年度も、PTAの方々には、準備期間での早朝作業、下校時間延長による送迎をはじめ、提燈行列での給水及び投票用紙の配布、一般公開日でのうどんとおでん作りなど、数々のご協力をいただきました。

■また昨年度に引き続き、提燈行列に合わせ実施していただいた商工会主催のYou遊ナイト、一般公開日には浦幌企画の皆様による出店もあり、大変な盛りあがりを見せました。特に、提燈行列では本当に沢山の方々から応援をいただき、投票数も過去最高の700票を数え、生徒にとつては大きな励みになりました。■更に、町職員及び警察の皆様による先導車や交通整理などのご協力、パンフレットでの宣伝等の協賛、生

徒会による

児童生徒への呼びかけのチャンスを快く作っていただいた幼稚園、保育所、小学校、中学校、役場からのテントや、椅子、鍋、トランプなど様々な会社や団体等からの物品の借用、学校隣接の臨時駐車場設置場所のご提供など、数え切れない程、皆様から有形無形のご協力を頂きました。私達の努力のみでは成し得ない、沢山の方々に支えられて成功した学校祭であることを改めて実感しています。本当にありがとうございました。

■今年の学祭テーマ、「みんなであつころう 青春の1ページ」の言葉のとおり、子どもたちの夏の思い出がまた一つ綴られたことと思います。

いつも心に交通安全を

7月21日、池田警察署長中川様始め警察と浦幌町役場の方々のご協力のもと、本校生徒会執行部8名による交通安全キャンペーンが行われました。多発する交通事故に対し、過去に犠牲者を出した苦い経験をもと



自衛官募集

防衛庁では次のとおり自衛官を募集しています。

募集種目	募集資格	期間
航空学生	高卒(見込含)~21歳未満	9月8日
一般曹候補学生	18歳以上~24歳未満	
曹候補士	18歳以上~27歳未満	
2等陸・海・空士	18歳以上~27歳未満	9月8日~29日
防衛大学校学生	高卒(見込含)~21歳未満	
防衛医科大学校学生	高卒(見込含)~24歳未満	
看護学生	高卒(見込含)~24歳未満	

■問合せ

帯広募集案内所(TEL 0155-23-8718)

■ホームページ

<http://www.obihiro.plo.jda.go.jp>



に、事故撲滅に向けた毎年恒例の行事になっています。
 ■当日は、浦幌郵便局前で市街を走る車に声をかけ、チラシとポケットティッシュのセット約150組を配布しました。■緊張の面持ちで始まったキャンペーンも、回を重ねる度に、笑顔でドライバーの方に接することができるようになってきました。「ご苦労様。」などの温かい言葉もいただき、充実した

気持ちでキャンペーンを終えることができました。お忙しい中、皆様ご協力ありがとうございました。

■バドミントン部健闘す

7月26日から2日間、帯広の森綜合体育館において、第59回北海道バドミントン選手権大会が行われました。本校からは5人の選手が出場しました。■大会へ向けての練習期間が学校祭の準備期間と重なり、十分な時間をかけることはできませんでしたが、できる限りの努力を積み重ねることができたと思います。■その結果、男子2部ダブルスでは雁部

雄輝・篠原悟君(ともに2年生)ペアが準優勝、男子2部シングルスでは雁部雄輝君が優勝という快挙を成し遂げました。2人とも本格的にバドミントンを始めたのは高校入学後で、「やればできる」と他の部員にとっても大きな励みとなりました。■次の大会からは2人とも1部に昇格することが決まっています。もっと強い相手と対戦していくために、部員全員でますます練習に励んでいきます。

■理科の楽しさを夏休み子ども理科実験教室

7月31日、8月1日の2日間、小学校3~6年生を対象とした理科実験教室(浦幌町教育委員会主催)が本校で実施されました。この教室は「実験を通して理科の楽しさを知ってもらおう」ことを目的にしているもので、今年で10年目になります。本校の岡田直子教諭、大関あすか実習助手が講師を務め、2日間で27名が実験を楽しみました。■1日目は3、4年生を対象に、洗濯糊と食塩水でつくる「はずむスライム」、塩化ビニル管を使った「静電気遊び」、モーターとガスバーナーを使った「わたあめづくり」を実験しました。■特にわたあめづくりでは、糸状になって出てくる砂糖に大歓声が上がリ、お祭りでも売っているようなわたあめの完成に子供たちは驚きの表情を見せていました。



■また「静電気遊び」では、静電気を帯びた塩化ビニル管でシヤボン玉や水道水を操って楽しむことができました。■2日目は5、6年生を対象に、印象剤を使った「指のレプリカづくり」、針金とティッシュペーパーを使った「花火づくり」、銀鏡反応を利用した「鏡づくり」などを行いました。■指のレプリカづくりでは、材料を混ぜてもなかなか良い硬さにならず苦労していましたが、子ども達はできあがった自分の指そっくりのレプリカに感動した様子で、フィルムケースに入れて大事そうに持ち帰りました。■花火づくりでは、赤や緑などの色とりどりの炎に目を輝かせ、子供たちは夢中になって実験に取り組んでいました。受講した子供からは「もう終わりのなの?」という声や、「とても楽しかった」、「来年もまた参加したい」という声も聞かれ、子供たちにとっても、講師にとっても夏休みのとても楽しい1ページになりました。参観に来てくださった大谷教育長様はじめ、募集から当日の2日間までお世話いただいた教育委員会の皆様、改めて感謝申し上げます。

(森教頭)

